

GKP 未来会×長崎大学 活動報告

2017年10月23日に開催された、長崎大学工学部社会環境デザイン工学コースの3回生向けの講義“水環境システム工学”をお借りして、GKP 未来会の活動を行いました。40名の学生に参加頂き3時間のイベントを開催しました。

GKP 未来会としては、九州の初のイベントでした。イベントに向けて、チーム九州の結成から始まり、約1年をかけて準備を行いました。今回はメディアへ発信することにより、未来会の活動を通じて学生さんに下水道の魅力について対外的にPRすることを目標としました。



写真 イベント終了後に撮影した集合写真

1. 実施概要

イベント名：GKP 未来会×長崎大学

日時：2017年10月23日（月） 12：50～16：00

場所：長崎大学文教キャンパス 総合教育研究棟 2階 203 多目的ホール

対象：工学部社会環境デザイン工学コース 3回生 40名

備考：講義、水環境システム工学の時間を使用

実施内容：

- GKP 未来会紹介、下水道の役割・水ビジネス紹介、就職体験（2017ミス日本水の天使 宮崎さん）
- 国、市、コンサル、管路メーカー、処理場メーカー、維持管理のお仕事紹介（GKP 未来会が6チームに分かれて説明）

○下水道の最新技術（長崎市（再資源化）、福岡市（水素、浸水対策）、北九州市（国際）、佐賀市（じゅんかん育ち）、熊本地震への取組紹介

○質問コーナー

2. 実施成果、所感

まずは、ミス日本水の天使の宮崎さんに GKP 未来会の紹介、下水道の役割・水ビジネス紹介、ご自身の就職体験をお話し頂きました。宮崎さんは水の天使の活動の中で経験された話や、本イベントの前日に日本を直撃した台風 22 号の影響を受け、新幹線の中で車中泊をされた体験を通して「水の貴重さを改めて感じた」とお話し頂きました。



写真 ご自身の体験をもとに下水道業界の説明を頂いた宮崎さん

2つ目のコーナーは GKP 未来会メンバーが国、市、コンサル、管路メーカー、処理場メーカー、維持管理の6チームに分かれて、それぞれの仕事説明を行いました。1チーム10分を6ローテーションしました。未来会メンバーも後半は疲れを隠せない感じでしたが、学生さんからの熱い視線やマスコミのカメラに気が付くと、気合いを入れなおしているように感じました。学生さんにとっては業界で働く様々な団体の話を一度に聞くことができたため、就職活動の参考にしてもらえたと感じています。



写真 グループに分かれて仕事紹介、NBC 長崎放送の取材風景

3つ目のコーナーは、下水道の最新技術、熊本地震への取組紹介を行いました。下水道の最新技術では長崎市、福岡市、北九州市、佐賀市の事例を紹介頂きました。下水道はただ汚水を処理するだけではなく、浸水対策、資源の再利用、国際協力を行っていることを紹介しました。佐賀市のじゅんかん育ちの紹介では、みかん等の試食の時間もあり、下水道から農作物が生まれたことに関心をもってもらえたと思います。熊本地震で各団体が取り組んだ内容について説明しました。国、市、民間企業がそれぞれの役割を持って取り組んだことを一連で紹介できたのは、この会の強みと感じています。



写真 最新技術を紹介する未来会メンバーとじゅんかん育ちを試食する学生

最後のコーナーでは、学生さんからの質問に未来会メンバーが答えていきました。「残業代がもらえるのか?」「国家公務員の転勤の割合は?」など生活に関する質問、「設計の難しいところは?」「国際展開の課題は?」など実務に関する質問、「公務員のやりがいは?」など意気込みに関する質問などを受け付けました。



写真 質問コーナー

さいごに、盛りだくさんの企画ではありましたが、随所に記憶に残してもらえるコンテンツを提供できたと感じています。学生さんに下水道業界に少しでも興味をもってもらえたらうれしいです。

○NBC 長崎放送 Nスタ 「長崎大学でセミナー 下水道業界が大学生にリクルート」

<https://www.nbc-nagasaki.co.jp/nst-plus-nagasaki/20171024-news/>